

APSTRA DATA CENTER DIRECTOR のデータシート

製品概要

[Apstra Data Center Director](#) は、ターンキーのマルチベンダー [自動化ソリューション](#) であり、データセンターネットワークの設計、構築、導入、展開、保証を行い、[データセンター運用](#) を簡素化および自動化できます。

Data Center Director の機能：
— 高度なネットワークおよびアプリケーション層の可視性、分析、カスタマイズによる行動可能なインサイトの基盤

— スピードを考慮した自動化により、導入時間と Day 2 の設定タスクの両方を削減

— ベンダー固有の正しい設定を自動生成し、変更を事前検証し、ネットワーク状態を継続的に検証することで、ネットワークの信頼性を高める

製品説明

[デジタルと AI（人工知能）への移行](#) はあらゆるところで進行しており、データセンターのトラフィックは急速に増加しています。ビジネスの成功を確実にするには、周囲で起こる変化に迅速に適応する必要があります。[Apstra Data Center Director](#) は、インサイト、スピード、そして信頼性を提供することで、データセンターネットワーク運用を変革します。

インサイト

Apstra Data Center Director は、優れたユーザーエクスペリエンスを実現するインサイトの基盤となります。包括的なテレメトリにより、関連するすべてのデータポイントを収集して分析できます。追加設定不要のネットワーク可視化とカスタマイズ可能な直感的なツールにより、高度な分析を実行できます。フローインサイトは、アプリケーション層の可視性と分析を強化できます。これらの機能自体が洞察に富むインサイトであり、Juniper Data Center Assurance を通じて AI ドリブンインサイトの豊富なデータ基盤を提供します。

スピード

Data Center Director には、Day 0 の計画段階から Day 2 の運用フェーズまで、データセンターのライフサイクル全体にわたって自動化を実現し、これによってあらゆるフェーズが迅速化します。

Day 0 では、スイッチングハードウェアの導入と同時にサービス開始が可能なソフトウェアベースの完全なデータセンターを構築できる設計ツールをお客様に提供します。これにより、サービス開始までの期間を、数時間に短縮できます。Data Center Director の設計図はベンダーに完全に依存しないため、スイッチングベンダーを選択する前にデータセンター全体を設計して、価格や納期など自社の優先事項に最適なベンダーを選択することができます。

Day 2 のプロビジョニングもはるかに高速化されているため、サービスプロビジョニングにかかる時間が大幅に短縮できます。お客様によっては 20 倍も高速化したという報告もあります。これにより、面倒な設定作業から解放され、ビジネスニーズを満たすサービスを提供することに集中できるようになります。

信頼性

Data Center Director は、CLI コマンドの誤入力、古い自動化スクリプト、文書化されていない設定変更など、ヒューマンエラーの原因の多くを排除して、ネットワークとアプリケーションの可用性を改善できます。ベンダーに左右されない [インテントベース](#) のデータセンターディレクターだけがあるため、スイッチを直接設定する必要はありません。システムがインテントに基づいてベンダー固有の適切な構成を自動生成し、数十に及ぶ妥当性チェックを通じてすべての変更を事前に検証し、継続的なインテント検証を実施します。これにより、ネットワークの稼働状態がインテントどおりであることを確認し、アプリケーションやユーザーエクスペリエンスに影響を及ぼす前に問題を検出し

て防止できます。ジュニパー検証済み設計（JVD）と繰り返し可能な設計図も一貫性を維持し、信頼性を向上させ、導入スピードを向上するのに役立ちます。

これらの信頼性機能は、上記の速度上のメリットを実現するために不可欠です。自動化プラットフォームが完全に検証された構成を提供し、ミスを排除していると信頼できなければ、新しいサービスを迅速に、安心して提供することはできません。Data Center Director の導入により、多くのお客様が安心してサービスを変更できるため、ビジネスに必要なサービスを提供するためにメンテナンス期間をスケジュールする必要がなくなり、規制準拠、容量計画、コスト管理などを行う必要がなくなります。

特長とメリット

Apstra Data Center Director には以下の機能があります。

インテントベースのネットワーク設計および運用

インテントベースのデータセンター自動化が、アプリケーションの可用性と信頼性を高め、導入と運用を簡素化することで、エンタープライズ企業、クラウドサービスプロバイダ、通信事業者のデータセンターにかかるコストを大幅に削減します。Data Center Director は、ハードウェアやデバイスの OS ベンダーに依存しない、唯一のインテントベースネットワーク構築テクノロジーとして、グループベースのポリシー、エンタープライズレベルの拡張、重要なインテントベース分析の強化などの機能を統合した、包括的なエンドツーエンドのデータセンター自動化のビジョンを実現します。

データセンターネットワークのライフサイクル管理

通常は、アーキテクトがネットワークを設計しオペレーターがそれを管理するため、情報共有が途絶えて信頼できる唯一の情報源（SSOT）がありません。アーキテクトはネットワークに加えられた変更気付かず、オペレーターにもシステムの機能や既知の制限について十分に知らされているとは言えません。Data Center Director は、グラフデータベースに SSOT を作成し、すべてのネットワークの移動、追加、および変更を追跡することで、これらの問題を排除します。Data Center Director は、他のシステムからネットワークに加えられた変更を追跡するだけでなく、ネットワーク全体に変更を実装できるシンプルなワークフローも提供します。

高度なテレメトリ：インテントベースの分析

Day 2 の運用においては、インテントが満たされ、サービスが期待通りに提供され、ネットワークが健全であることを保証するには、ネットワークインフラストラクチャの運用状態を継続的に監視および検証することが重要です。これらの目標を達成するには、テレメトリデータを収集する必要がありますが、それだけで

は不十分です。ネットワーク事業者は、データを分析して実用的なインサイトを抽出するためのツールがないため、従来の監視システムによって収集されたデータからの膨大な情報に溺れていることがよくあります。

Data Center Director のインテントベース分析（IBA）では、ネットワークからのテレメトリデータを監視および分析する方法を定義できます。IBA では、専門家レベルのルールとシステムチェックを作成し、ネットワーク管理システムに組み込むことで、ネットワーク変更に応じて継続的にこれらのルールとチェックを実行し、自動的に更新することができます。

IBA では、組み込みの処理機能を使用して、ユーザーが定義したリアルタイム分析パイプラインを作成することができます。これにより、最も複雑なトラブルシューティングシナリオをコード化し、生のテレメトリデータからのインサイトの抽出を自動化できます。

Data Center Director には、内蔵のテレメトリコレクターを活用したさまざまな定義済みの IBA プローブが含まれています。ジュニパーのデバイスでは、任意の「show」コマンドを使用してカスタムコレクターを作成することもできるため、これらのデバイスから利用可能なデータを収集し、IBA 処理機能を利用してデータにカスタム分析を適用し、その結果をカスタムダッシュボードに表示することもできます。

IBA プローブでは強力なリアルタイム分析が提供されていますが、分析レポートを通して履歴データに関するインサイトを得ることもできます。これらのレポートでは統計分析を活用しており、データセットの経時的な分布を理解して、異常値を特定し、トレンドを分析するのに役立ちます。

小規模および大規模データセンターにおけるスケーラビリティ

Data Center Director は、数十万台におよぶ接続サーバーをサポートする世界でも最大規模のデータセンターに対応するために設計されました。このサポートは、EVPN-仮想拡張 LAN（VXLAN）をオーバーレイとして展開し、3 段または 5 段の Clos IP ファブリックをサポートすることで実現します。

Data Center Director は、より小規模なファブリック設計にも対応しています。例えば、エッジデータセンターでは、スイッチが数台展開されるだけですが、展開する数は多く、高度に分散されます。Data Center Director は、エッジデータセンター全体の運用を単一の管理インターフェイスに簡単に統合できます。

展開の数や規模に関係なく、運用担当者のインテントを重視し、そのインテントを構成に反映させることに重点を置いています。オペレーターはデバイスの役割を簡単に変更でき、複数のベンダーやネットワーク設計全体の構成に大規模な変更を加えることができます。Data Center Director は、高スループットで拡張性の高いグラフデータストアで構築されており、すべての変更をリアルタイムで追跡するため、企業が個々の IP アドレスや構成を管理

する必要がありません。これにより、事業者は、低レベルのトラブルシューティングや、ネットワークが変更されるたびにネットワーク管理システムを再設定することなく、ビジネスに固有のニーズに専念することができます。

ファブリックの柔軟な設計と接続

Data Center Director は、あらゆるネットワーク規模に対応して複数のユースケースをカバーすることができ、導入が容易で検証性の高いファブリックリファレンスデザインを提供することで、次世代データセンターネットワークの導入と運用に伴う複雑さを解決します。これらの設計は、3 ステージと 5 ステージの両方の設計バリエーションが利用可能なリーフスパイン Clos アーキテクチャを通じて、エンタープライズとプライベートクラウドの要件を満たす多用途性を持つ設計です。さらに、ルールに最適化された Clos アーキテクチャで AI トレーニングクラスターのユースケースもサポートされています。これらの設計では、GPU 間の通信がルールを介して行われる集中的な GPU トラフィック用にファブリックトポロジが最適化されており、ホップを最小限に抑えてパフォーマンスを向上させ、信頼性の高い RDMA トラフィックフォワーディングを実現するイーサネットロスレスサービスが保証されます。このような特定の用途では、AI テンプレートデザイナーが、サーバー仕様に合わせて、最小限のインプットで検証済みのルール認識型設計テンプレートを作成するプロセスを簡素化します。ただし、データセンターによっては、これらのテンプレートで対応していない特定のトポロジ、プロトコル、またはアーキテクチャを必要とする場合があります。

Data Center Director の「フリーフォーム」リファレンスデザインでは、思い通りのデザインを構築することができます。お客様の導入シナリオに合わせて、あらゆる機能、プロトコル、アーキテクチャを活用することができます。Freeform は、あらゆる任意のネットワークトポロジを視覚的に設計またはモデル化するためのインタラクティブキャンバスとなります。構成は、デバイス上の構成をユーザーがすべて制御できるようにする「構成テンプレート」で管理されます。

デバイスのオペレーティングシステムのアップグレード、デバイスの簡単な導入、導入前のデータセンターモデリング、デバイスのテレメトリ、分析ダッシュボード、強力なインテントベースの分析、Time Voyager など、同じシンプルで強力なライフサイクル管理機能を利用できます。

Data Center Director は、サーバー、ファイアウォール、外部ルーターに接続するための柔軟なオプションも提供しています。これらの接続オプションは、ファブリック内の任意のポートにすばやく接続することができ、確定的な構成ですべてのプロトコルの適切な機能を確保することができます。

Time Voyager

ネットワーク運用担当者が必要とする重要な運用機能は、ヒューマンエラーから迅速に回復する機能です。これは通常複雑で、ベンダーに固有のプロセスであり、ある時点での全設備の全状態と、それら設備の相互関係を完全に理解する必要があります。タイムボイジャー機能では、運用担当者が数回の簡単なクリックでネットワークの状態すべて（インテント、設定、継続的な検証）を前後に動かして、ある時点に戻すことができるため、解決までにかかる時間を短縮することができます。この独自の機能は、SSOT グラフデータベースやアシュアランス検証を含めた基礎となるインテントベースのアプローチによって実現しています。

データセンターの相互接続

ネットワークが拡大し、アプリケーションにデータセンターの地理的多様性が必要とされる中、複数のベンダーが、拡張されたレイヤー 2 ドメインとデータセンター間のアクティブ/アクティブトポロジに対応するために独自のデータセンターの相互接続（DCI）機能を導入しています。これに対し、Data Center Director では、Data Center Director が管理するトポロジの外にまでレイヤー 2 アプリケーションセグメントを拡張することができる業界標準の [EVPN-VXLAN](#) オーバーレイをサポートしています。これにより、アーキテクトは複数の異種コンピューティングセンターを統合して、効果的なロードバランシング、レガシーの移行、災害復旧、リソース共有を実行しながら、障害ドメインを分離して高可用性と耐障害性を確保することができます。Data Center Director は、VXLAN トンネルスティッチングで DCI の設定を自動化することで、複数のデータセンターを統合する複雑さを大幅に削減します。

アクセスリストポリシー保証

Data Center Director のセキュリティポリシーは、シンプルなユーザーインターフェイスと API を提供し、ユーザーは仮想ネットワーク、IP エンドポイント、ルーティングゾーン間のトラフィックフローを制御するためのポリシーを定義することができます。ポリシーは、適切な強化ポイントの L3 ACL として自動的に適用されるため、管理が大幅に簡素化され、アクセス制御リストのサイズも低減します。さらに、Data Center Director では、複数のポリシーが重複して適用された場合のコンフリクトを設計図内で検出することができ、「より具体的なものを優先する」または「より一般的なものを優先する」などのユーザー設定に基づいて、コンフリクト（競合）を自動的に解決できます。ユーザーは、ソース/宛先オブジェクトやトラフィックのタイプ（プロトコルおよびポート番号）に基づいて既存のポリシーを検索し、そのトラフィックフローがアクティブなポリシーに影響を与えるかどうかを判断できます。

すべての最新ネットワークプラットフォームをサポート

Data Center Director は、業界初かつ唯一のベンダーに依存しないintentベースネットワーク構築プラットフォームを提供することで、企業が最終的に導入されるハードウェアプラットフォームを考慮することなくネットワークを設計できるようにします。ネットワークの設計と管理に使用するツールは、最終的にどのベンダーのハードウェアやネットワークオペレーティングシステムを選択しても同じです。そのため、複数のプラットフォームやベンダーの微妙な違いについてスタッフの専門知識を維持する必要がなくなることで、OpEx（運用コスト）が大幅に削減されます。また、Data Center Director が管理する環境では、すべての最新ベンダーも組み込むことができるため、CapEx（設備投資）の削減も期待できます。

フローデータ

最新のデータセンター向けのマルチベンダーネットワーク可観測性ソリューションであるフローインサイトは、あらゆる規模に対して、ネットワークパフォーマンス、可用性、セキュリティに関するこれまでにないインサイトを提供します。フローインサイトから、ネットワークの完全な可視化とトラフィックパターンの詳細な分析が得られるため、管理者は問題の原因を特定して、問題を解決できます。この広範な可視化によりネットワークパフォーマンスが最適化され、セキュリティ強化へとつながり、容量計画とコスト制御が改善します。

フローインサイトは、送信元と宛先の IP アドレス、ポート、プロトコル、送信データ量など、ネットワークトラフィックのフローに関する詳細な情報を提供します。ネットワーク管理者はこの情報を取得することで、ネットワークのパフォーマンスをよりよく理解し、混雑、高遅延、パケット損失などの潜在的な問題を特定することができます。

ネットワークエンジニアは、フローインサイトからのインサイトを活用して、ネットワークトラフィックフローを最適化し、遅延を削減し、ネットワークパス全体に負荷を分散し、利用可能なリソースを最も効率的に使用できるようにする戦略を実装することができます。

フローインサイトでは、組織固有の情報でマルチベンダーネットワークトラフィックを強化させることができるため、ネットワークトラフィックパターン、リソース使用、およびセキュリティリスクについてより深く分析し、理解を向上させることができます。フローインサイトは、企業がセキュリティ態勢を改善し、脅威をより効果的に検出して対応し、規制要件へのコンプライアンスを維持できるようにします。

VMware の統合

Data Center Director は、VMware NSX-T や VMware vCenter と緊密に統合されており、仮想ワークロードとネットワークを可視化することができます。内蔵の検証機能により、仮想ネットワークング、ポートグループ/ファブリック VLAN/Link Aggregation Control Protocol (LACP) の不一致、VM トラフィック問題のトラブルシューティングを迅速に行うことができます。修復ワークフローは、ネットワークファブリックへの正しい変更を自動的に提案するため、VLAN の誤設定をより迅速に解決するために役立ちます。

Juniper Data Center Assurance

Juniper [Data Center Assurance](#) は、オンプレミスの Apstra Data Center Director を補完するジュニパーの AI ネイティブネットワークングプラットフォームである Mist™を搭載したクラウドベースの AIOps アプリケーションスイートです。AI ドリブンインサイトを提供することで、ネットワーク事業者はトラブルシューティングにかかる時間を大幅に短縮し、データセンターネットワークとアプリケーション両方のアシュアランスを事後対応型から事前対応型へと移行することができます。データセンターアシュアランスには、予測アシュアランス、可視性、トラブルシューティング、影響分析を備えたアプリケーション認識、サービスレベル要件、データセンター向け [Marvis® AI アシスタント](#) などの機能が備わっています。

表 1：層別の機能

| 特長 | スタンダード | アドバンスド | プレミアム | VMware 用コネクタ |
|--------------------------------------|--------|--------|-------|--------------|
| ネットワーク設計 | | | | |
| 3 段および 5 段の Clos デザイン | X | X | X | |
| 折り畳み式ファブリック設計（エッジデータセンター） | X | X | X | |
| レールに最適化された Clos 設計（AI トレーニングデータセンター） | | | X | |
| レールコラプス型 Clos 設計（AI トレーニングデータセンター） | | | X | |
| L2 アクセススイッチ | X | X | X | |
| アクセス層の高可用性スイッチ | X | X | X | |
| フリーフォーム設計（あらゆるネットワーク設計） | X | X | X | |
| IPv4 ファブリック（非 EVPN） | X | X | X | |

| 特長 | スタンダード | アドバンスド | プレミアム | VMware 用コネクタ |
|------------------------------------------------------|--------|--------|-------|--------------|
| IPv6 ファブリック RFC-5549 (非EVPN) | X | X | X | |
| EVPN ファブリック | X | X | X | |
| 仮想ルーティングおよび転送テーブル (VRF) | X | X | X | |
| L2/L3 仮想ネットワーク (IPv4/IPv6) | X | X | X | |
| ラック内 (VLAN) 、またはラック間 (VXLAN) 仮想ネットワーク | X | X | X | |
| 外部システム (MLAG/vPC/ESI) のシングルまたはデュアルホーミング | X | X | X | |
| L3 サブインターフェイス | X | X | X | |
| DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) リレー | X | X | X | |
| 外部 BGP ピアリング | X | X | X | |
| ダイナミック BGP ネイバー | X | X | X | |
| 詳細なインポート/エクスポートのルーティングポリシー | X | X | X | |
| スタティックルート | X | X | X | |
| L2/L3 データセンターの相互接続 (DCI) 向けリモート EVPN ゲートウェイ | | X | X | |
| 統合相互接続/VXLAN スティッチング (DCI) | | X | X | |
| ベンダー混在ファブリック (ジュニパー以外のデバイスを使用したファブリック) | | | X | |
| デバイス OS | | | | |
| Junos オペレーティングシステムと vJunos スイッチ | X | X | X | |
| Junos OS Evolved と vJunos Evolved | X | X | X | |
| Cisco NX-OS および NX-OSv | | | X | |
| Arista EOS および vEOS | | | X | |
| Enterprise および Edge Standard SONiC | | | X | |
| サーバー OS | | | | |
| Ubuntu 22.04 (NVIDIA DGX シリーズ上) | | | X | |
| テレメトリサービス | | | | |
| アドレス解決プロトコル (ARP) テーブル | X | X | X | |
| メディアアクセス制御 (MAC) テーブル | X | X | X | |
| BGP セッション | X | X | X | |
| ホスト名 | X | X | X | |
| インターフェイスとインターフェイスカウンター | X | X | X | |
| インターフェイスキューカウンター (例: ECN、PFC) およびバッファ使用率 | | | X | |
| GPU ベースの RoCE v2 トラフィックカウンター (例: CNP、OOS) | | | X | |
| トランシーバ情報と診断 | X | X | X | |
| リンクアグリゲーショングループ/マルチシャーシリンクアグリゲーショングループ (LAG/MLAG) 情報 | X | X | X | |
| リンクレイヤー検出プロトコル (LLDP) 情報 | X | X | X | |
| リソース使用率 (ディスク、メモリ、CPU) | X | X | X | |
| デバイスの環境の健全性 (電源、ファン温度など) | | X | X | |
| テレメトリサービスの正常性 | X | X | X | |
| カスタムテレメトリコレクタ (追加のテレメトリ) | | X | X | |
| IP ルートテーブル | X | X | X | |
| アクティブな設定 | X | X | X | |
| EVPN フラッディングテーブル | | X | X | |
| EVPN ルーティングテーブル | | X | X | |
| フローデータ (sFlow、NetFlow、IPFIX、IFA) | | | X | |
| インテントベースの分析 (IBA) | | | | |
| カスタムダッシュボードとウィジェット | X | X | X | |
| プログラム可能なプローブ | X | X | X | |
| カスタムプローブ向けタグとプロパティセット | X | X | X | |
| デバイスシステムの正常性と環境のチェック | X | X | X | |
| デバイスのトラフィックとヘッドルーム | X | X | X | |
| LAG の不均衡 | X | X | X | |
| MLAG の不均衡* | X | X | X | |

| 特長 | スタンダード | アドバンスド | プレミアム | VMware 用コネクタ |
|------------------------------------------------|--------|--------|-------|--------------|
| ESI の不均衡* | X | X | X | |
| ファブリックインターフェイスの ECMP（等価コストマルチパス）の不均衡 | X | X | X | |
| MAC 監視 | X | X | X | |
| プロトコルバッファを介したテレメトリストリーミング | | X | X | |
| 帯域幅の利用 | | X | X | |
| 重要なサービス：活用、傾向、アラート通知* | | X | X | |
| 重要なサービスをホスティングするリーフ：活用、傾向、アラート通知* | | X | X | |
| トラフィック異常の排出 | X | X | X | |
| スペインからスーパースパインインターフェイス間の ECMP（等価コストマルチパス）の不均衡* | | X | X | |
| 外部インターフェイスの ECMP（等価コストマルチパス）の不均衡 | | X | X | |
| スペイン耐障害性* | | X | X | |
| EVPN-VXLAN タイプ 3 ルート検証* | | X | X | |
| EVPN-VXLAN タイプ 5 ルート検証* | | X | X | |
| VXLAN フラッドリストの検証* | | X | X | |
| EVPN ホストフラップの検出* | | X | X | |
| BGP 監視 | | X | X | |
| ホット/コールドファブリックポート | | X | X | |
| ホット/コールドスペインからスーパースパイン間* | | X | X | |
| ホット/コールド固有のインターフェイス | | X | X | |
| パケットの破棄 | | X | X | |
| インターフェイスフラッピング | | X | X | |
| 総東西トラフィック* | | X | X | |
| 光トランシーバ | | X | X | |
| 外部ルートを表示* | | X | X | |
| 接続性障害モデル* | | X | X | |
| ケーブル障害モデル* | | X | X | |
| マルチエージェント検出（Arista のみ）* | | | X | |
| ハイパーバイザーとファブリックの VLAN 設定の不一致* | | | | X |
| ファブリックが設定されている VLAN がない VM* | | | | X |
| ハイパーバイザーとファブリックの LAG 構成の不一致* | | | | X |
| ハイパーバイザーに LLDP 設定が欠落* | | | | X |
| ハイパーバイザー最大送信単位（MTU）の不一致* | | | | X |
| ハイパーバイザー MTU チェック* | | | | X |
| ハイパーバイザー冗長性チェック* | | | | X |
| ストライプとレールトラフィック* | | | X | |
| インターフェイスキュー統計モニタリング* | | | X | |
| GPU ハードウェアトラフィック監視* | | | X | |
| プラットフォーム | | | | |
| Apstra Data Center Director サーバーのバックアップ/復元 | X | X | X | |
| Apstra Data Center Director サーバー健全性報告 | X | X | X | |
| Apstra Data Center Director サーバーのアップグレード | X | X | X | |
| RESTful API | X | X | X | |
| API ユーザーガイドと API エクスプローラ | X | X | X | |
| グラフモデルおよび GraphQL/QE API | X | X | X | |
| Telegraf 入力プラグイン | | X | X | |
| Apstra Data Center Director CLI | X | X | X | |
| Apstra Data Center Director デベロッパー SDK（Python） | X | X | X | |
| 拡張可能なオンボックス/オフボックスデバイスエージェント | X | X | X | |
| マルチユーザー管理 | X | X | X | |
| ロールベースのアクセス制御 | X | X | X | |
| 自己完全性チェック | X | X | X | |

| 特長 | スタンダード | アドバンスド | プレミアム | VMware 用コネクタ |
|-------------------------------------------|--------|--------|-------|--------------|
| セキュリティ | | | | |
| マルチユーザー管理 | X | X | X | |
| ロールベースのアクセス制御 | X | X | X | |
| LDAP 認証 | X | X | X | |
| TACACS+認証 | X | X | X | |
| RADIUS 認証 | X | X | X | |
| アクティブディレクトリ認証 | X | X | X | |
| HTTPS UI | X | X | X | |
| Apstra Data Center Director サーバーのセキュリティ強化 | X | X | X | |
| API ドリブンな運用 | X | X | X | |
| 設計図のカスタマイズ | | | | |
| テンプレートのタイプとオプション | X | X | X | |
| 接続テンプレート | X | X | X | |
| 詳細なスコープ（インターフェイスレベルなど）を備えたコンフィグレット | X | X | X | |
| 構成テンプレート（フリーフォームのみ） | X | X | X | |
| プロパティセット | X | X | X | |
| タグ管理 | X | X | X | |
| リソースプール管理 | X | X | X | |
| Day 2 ラック変更 | X | X | X | |
| Day 2 ファブリック拡張 | X | X | X | |
| 高度なロードバランシング（動的ロードバランシングとグローバルロードバランシング） | | | X | |
| Day 2+運用 | | | | |
| ステー징/コミットワークフロー | X | X | X | |
| ネットワーク状態のロールバック（Time Voyager） | X | X | X | |
| 一般システムの追加/削除 | X | X | X | |
| ラックの追加/更新/削除 | X | X | X | |
| ポッドの追加/削除 | X | X | X | |
| ネットワーク OS のアップグレード/ダウングレード | X | X | X | |
| インターフェイスの変更/追加 | X | X | X | |
| インターフェイスのオン（アップ）/オフ（ダウン）切り替え | X | X | X | |
| ブレイク/フォームラグ | X | X | X | |
| デバイスメンテナンス | X | X | X | |
| デバイスの廃止 | X | X | X | |
| デバイス交換 | X | X | X | |
| リソースの利用 | X | X | X | |
| 一括運用による仮想ネットワーク管理 | X | X | X | |
| ルール最適化ファブリック用仮想ネットワークと接続テンプレートの自動作成と割り当て | | | X | |
| Marvis AI Assistant for Data Center | X | X | X | |
| アプリケーション認識 | | | X | |
| 影響分析 | | | X | |
| 予測アシュアランス | | | X | |
| サービスレベル期待値ダッシュボード | | | X | |
| ポリシーアシュアランス | | | | |
| 構成ドリフト検出 | X | X | X | |
| ルーティングゾーン制約ポリシー | X | X | X | |
| アクセスリストポリシー—コンフリクト検出と解決 | | | X | |
| 802.1x ネットワークアドミッションコントロール | | | X | |
| ACL によるトラフィック制御 | | | X | |
| ポリシー管理 | | | X | |
| ケーブルマップ：非親和性ポリシー | | | X | |
| セキュリティポリシー（ファイアウォールフィルター/アクセス制御リスト） | | | X | |

| 特長 | スタンダード | アドバンスド | プレミアム | VMware 用コネクタ |
|-------------------------------------------------|--------|--------|-------|--------------|
| デバイス管理 | | | | |
| グラフィカルユーザーインターフェイスを備えたユニバーサルゼロタッチプロビジョニング (ZTP) | X | X | X | |
| デバイスエージェントのインストーラ | X | X | X | |
| ライフサイクル管理 | X | X | X | |
| デバイスの隔離 | X | X | X | |
| デバイスメンテナンス | X | X | X | |
| 仮想インフラストラクチャの統合 | | | | |
| VMware vCenter | | | | X |
| VMware NSX-T | | | | X |

*フリーフォームデザインでは印が付いたブローブはご利用いただけません

注文情報

Apstra Data Center Director の注文に関するお問い合わせは、[ジュニパーの営業担当者](#)までお問い合わせください。

ジュニパーネットワークスについて

ジュニパーネットワークスは、単なる接続性は優れた接続エクスペリエンスと同じではないと考えています。[Mist™はジュニパーのAI ネイティブネットワーキングプラットフォーム](#)であり、AI を活用して、エッジからデータセンター、クラウドにいたるまで安全で持続可能な、卓越したユーザーエクスペリエンスを提供するために、ゼロから構築されています。詳細については、ジュニパーネットワークス (www.juniper.net/jp/ja/) をご覧ください。また、[X](#) (Twitter) 、[LinkedIn](#)、[Facebook](#) でジュニパーのフォローをお願いいたします。

SONiC®は The Linux Foundation の商標です。

Corporate and Sales Headquarters

Juniper Networks, Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089 USA

電話番号：888.JUNIPER (888.586.4737)

または +1.408.745.2000

www.juniper.net

APAC and EMEA Headquarters

日本, 東京本社
ジュニパーネットワークス株式会社
〒163-1445 東京都新宿区西新宿 3-20-2
東京オペラシティタワー 45 階

電話番号：03-5333-7400

FAX：03-5333-7401

JUNIPER NETWORKS | Driven by Experience™

www.juniper.net/jp/ja/

Copyright 2025 Juniper Networks, Inc. All rights reserved. Juniper Networks、Juniper Networks ロゴ、Juniper、Junos は、米国およびその他の国における Juniper Networks, Inc.の登録商標です。その他すべての商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークは、各所有者に帰属します。ジュニパーネットワークスは、本資料の記載内容に誤りがあった場合でも、一切責任を負いません。ジュニパーネットワークスは、本発行物を予告なく変更、修正、転載、または改訂する権利を有します。